

2022 年度 第 2 回 8 月

京大本番レベル模試

日本史・採点基準

単答問題部分

◆単答問題・共通の原則◆

- ① 漢字で書くべき用語（語句）のひらがな表記には得点を与えない。
また、ひらがなで書くべき用語（語句）の漢字・カタカナ表記、カタカナで書くべき用語（語句）の漢字・ひらがな表記にも得点を与えない。漢数字を含む用語（語句）について算用数字をもじいた表記にも得点を与えない。
- ② 判読しにくい文字についてはできるかぎり善意に解釈して採点する。
- ③ 部分点は設けない。
- ④ 「漢字〇字で」と指示した設問に対して『』を加えて字数を一致させた答案を示した場合、『』は漢字ではないなどの理由から不正解とする。

事例) 「漢字5字で」… ○建武年間記 × 『建武記』

I 中世・近世・近現代の史料問題 (1点×17=17点)

*許容解など

特になし。

II 古代～現代の総合問題 (1点×20=20点)

*許容解など

空欄補充問題。「最も適当な語句を記せ。」という指示が明示されているため、原則別解なし。

III A旧石器・縄文・弥生時代, B首・頭部の呪力, C幕末・明治期の博覧会 (1点×29=29点)

*許容解など

特になし。

ア～ゾは空欄補充問題。「最も適当な語句を記せ。」という指示が明示されているため、原則別解なし。

論述問題部分

◆論述問題・共通の基準◆

- 採点基準においては加点要素を、**3点**のものは太字・アミカケ□□で、**2点**のものは二重線□□で、**1点**のものは下線□□で、それぞれ示している。採点に際しては常に前後の文脈に留意する（◎で示した事項、<>内に示した事項に内容が反していないかを確認する）。例外的対応などについては※で示してある。
- 加点要素に直接関係している**歴史用語等**（太字で表示）について、①誤字を含む表記、②漢字で記すべき語句のひらがな・カタカナ表記、③漢数字を含む語句への算用数字をもちいた表記は、当該加点要素の配点から漢字1文字分につき**1点減点**とする。同一語句・文字がくりかえし不適正な形で表記されている場合は、それを減点の対象とするのではなく、まとめて**1点減点**とする。④脱字、当て字のある**歴史用語等**の表記は、**非加点**とする。
- 制限字数を超過した答案については、模試という性質を考慮して対処する。

◆採点基準上の記号◆

- ◎ …前提条件 (例) 「◎アメリカ」
「**a 第一次世界大戦**に参戦した」
→答案例「イギリスは第一次世界大戦に参戦した」
◎の内容と整合性がないため**非加点**
※◎の内容は答案上に必ずしも明示されていなくても良い
- <>…前提条件 (例) 「**a <首相の>浜口雄幸**」
→答案例「浜口雄幸蔵相」
<>の内容と整合性がないため**非加点**
※<>の内容は答案上に必ずしも明示されていなくても良い
- [] …別表現 (例) 「**a 益田[天草四郎]時貞**」→「益田時貞」と「天草四郎時貞」
- () …省略可能箇所 (例) 「**a 運任(国司)**」→「運任」と「運任国司」

I 中世・近世・近現代の史料問題 (1点×3=3点)

B (14)

◆加点要素の合計1点→**1点満点**◆

◎幕府の措置

a 全般実地を直轄地とした 1点以内

C (17)

◆加点要素の合計1点→**1点満点**◆

◎「昭和二十一年の新聞雑誌」

a 占領軍に対する批判は禁止された 1点以内

C (18)

◆加点要素の合計1点→**1点満点**◆

◎津島家が大地主としての地位を失った理由

a 農地改革が行われた 1点以内

III A旧石器・縄文・弥生時代、B首・頭部の呪力、C幕末・明治期の博覧会 (1点×1=1点)

C (11)

◆加点要素の合計1点→**1点満点**◆

◎日米和親条約

a 最惠国待遇が片務的だった 1点以内

IV 源平の争乱、松前氏とアイヌ (15点×2=30点)

(1) 源平の争乱 (中世)

◆加点要素の合計15点→15点満点◆

◎源平の争乱に関する推移

- a 以仁王の令旨が諸国に伝えられた 1点以内
※c～i以後のこととした場合は加点対象外とする
- b 以仁王が源頼政と挙兵した 2点以内
※c～i以後のこととした場合は加点対象外とする
- c <平氏勢力に対して>源頼朝が伊豆、源義仲が信濃で挙兵した 1点以内
※e～i以後のこととした場合は加点対象外とする
- d 都が福原京に移されたが寺院や貴族の反対を受けて短期間で京都に戻された 2点以内
※e～i以後のこととした場合は加点対象外とする
- e 平清盛が死去した 1点以内
※f～i以後のこととした場合は加点対象外とする
- f 平氏が養和の飢饉による打撃を受けた 1点以内
- g 平氏が俱利伽羅峠の戦いで源義仲に敗れて都落ちした 2点以内
※h～i以後のこととした場合は加点対象外とする
- h 源頼朝によって派遣された源範頼と源義経が源義仲を滅ぼした 2点以内
※i以後のこととした場合は加点対象外とする
- i 一の谷の合戦・屋島の合戦を経て壇の浦の戦いで平氏が滅ぼされた 3点以内

(2) 松前氏とアイヌ (近世)

◆加点要素の合計15点→15点満点◆

◎松前氏／松前藩（「アイヌの蜂起」以前）

- a <徳川家康から>アイヌとの交易独占権を保障された 2点以内
- b 商場知行制をとった 2点以内
- c アイヌとの交易権を知行として家臣に与えた 2点以内

◎17世紀後半のアイヌ

- d <松前藩に対して>シャクシャインの戦いを起こしたが鎮圧されて服従させられることとなった 3点以内
- e <和人との間で不利な取引が行われるなかで蜂起した 1点以内

◎「アイヌの蜂起」後の松前藩

- f 場所請負制度をとるようになった 2点以内
- g アイヌとの交易を和人商人に請け負わせるようになった 1点以内

◎「アイヌの蜂起」後のアイヌの立場

- h <和人の>交易の相手から和人商人に使われる立場に変化した 2点以内